



市ヶ谷だより

法政大学
市ヶ谷キャンパス
教職課程センター
2022年4月号(3/15発行)
改訂版

★勝負の夏へ向け新年度がスタート。後で悔やむな、今、全力で取組む！

4年生と院生・通教・既卒等で今夏の教員採用試験を受験する皆さん、進路を決定する上で重要な時期を迎えました。いよいよ、公立・私立の募集が始まります。「さすが、法政の学生はやるね」と2/26試験受験者の現役合格者を3年続けて評価された昨年度の採用試験受験者。でも、今年度、その先輩たちの人数を上回る多くの皆さんが教職への強い意欲をもって取組んでいます。

さあ、本番の試験を見据えて行動開始です。早速、2023年度採用の実施要項を入手し、何度も読み返し熟読確認の上、志願書や自己PR等を作成します。選考の際に重要な資料となりますから、記入漏れや誤字脱字、相手が読みにくい乱暴な字ではダメです。読みやすく且つ読み手の気を引くような文章を心掛けましょう。

3月号に続き、合格した先輩の体験記を御紹介します。昨年度、東京都の採用試験に合格したNさんです。



教職教養の学習の進め方としては、主に教職課程センターの講座、問題集、自治体の過去問の三つを中心としていました。問題集は、講座を受けた日の夜に復習として進めていくことで記憶の定着を図りました。参考書は一問一答形式のものを電車で時間のある時に確認するくらいで、そんなに時間を割いては使いませんでした。過去問に取り組んだのは、問題集を一周して間違えた問題を解き直してからでしたが、今思うと慣れるためにもう少しやっても良かったような気がします。特に、時事問題についてはどんな問題が出るのか、どんな資料があるのか(文部科学省や教育委員会のHPの答申等)、時間のある時に目を通しておくといいと思います。過去問は教職課程センターで貸し出してくださる図書を利用しました。自治体で悩んでいる方は問題の比較もしてみてください。小論文は多くの皆さんと同じかと思いますが、特に苦手意識がありました。理想としてはたくさん書いて書き慣れることが一番だと思います。書いた分の自信もつき、時間の感覚も実際に掴むことができるからです。ただ私もそうなのですが、他の勉強に追われてしまったり、苦手で腰が重かったりもあるかと思います。そんな方は、習慣化すること、それから、小論文一本で毎回何かしら学びを得ることを軸に据えて進めてみてください。「毎週水曜日の9時から一本書く」、「前日から気持ちを高めて準備しておいて朝一で書く」、など習慣化していくと書くことへのハードルは徐々に下がります。あとは教職課程センターで予約を取って書かざるを得ない環境を作るのもいいかもしれません。もう一つの毎回何か学びを得る、というのは、スモールステップでいいと思います。教職課程センターの小論文講座でも序論・本論・結論の書き方を順序だてて教えてください。自分の中でもそれを細分化して、今回は序論の中でも現状をしっかりと書こう、など目的意識を持ってみてください。「完璧です！」のハンコをいただけるまでちょっとずつ挑戦しましょう！

◆4月の教職課程センターの相談指導の予定◆ 変更の場合有ります

4月	9:00~12:20	13:20~16:00		9:00~12:20	13:20~16:00
1(金)	個別相談	個別相談	19(火)	集団討論対策講座	個別相談
5(火)	個別相談	個別相談	20(水)	個別相談	川崎市説明会
6(水)	個別相談	個別相談	21(木)	個別相談	個別相談
7(木)	論作文対策講座	個別相談	22(金)	教職教養	横浜市説明会
8(金)	教職教養対策講座	個別相談	26(火)	個人面接対策講座	個別相談
12(火)	個人面接対策講座	個別相談	27(水)	個別相談	個別相談
13(水)	個別相談	神奈川県説明会	28(木)	論作文対策講座	個別相談
14(木)	論作文	東京都説明会(ZOOM)	教員採用試験突破へ向け、第3タームが始まります 講座は感染状況によりZoomになる場合があります		
15(金)	教職教養	千葉県説明会			

◇講座は午前9:00~10:30の時間設定です。

◇講座は対面を予定していますが、感染症対策によりオンラインでの実施となる場合もあります。

◎相談指導・各種イベントのお申込みは◎

教職課程センター(月~金9:30~17:30)に来室又はメール(kkc@ml.hosei.ac.jp)にて

[URL] http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/